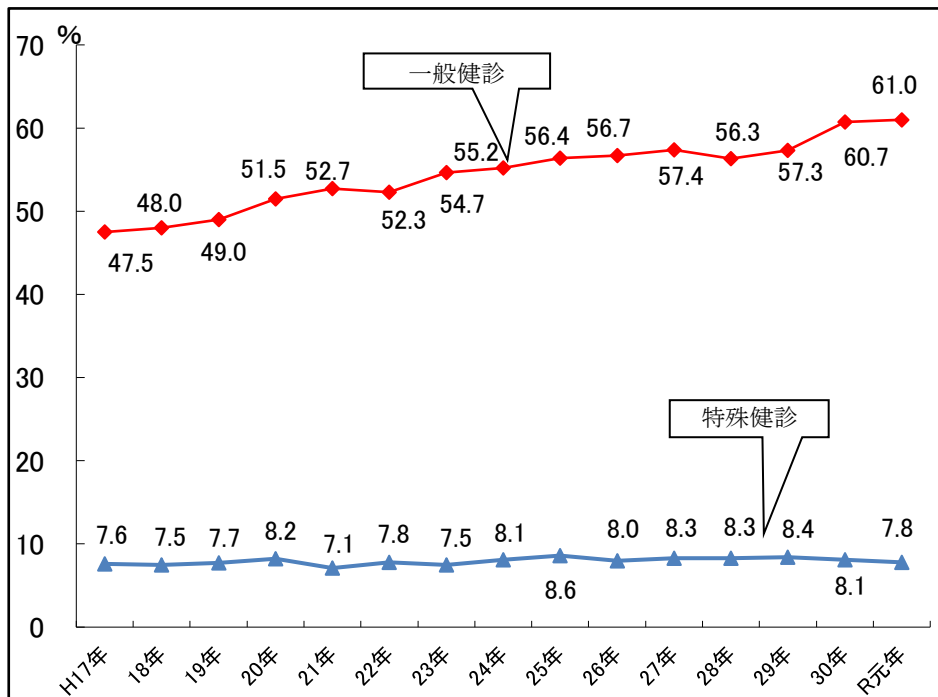
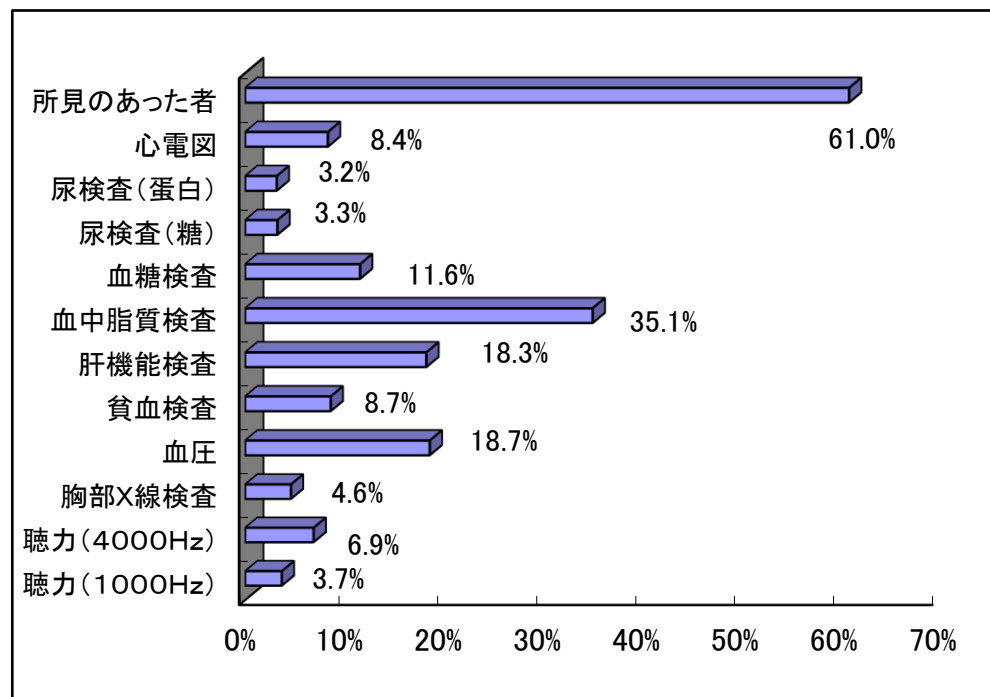


## 2. 健康診断有所見者の推移

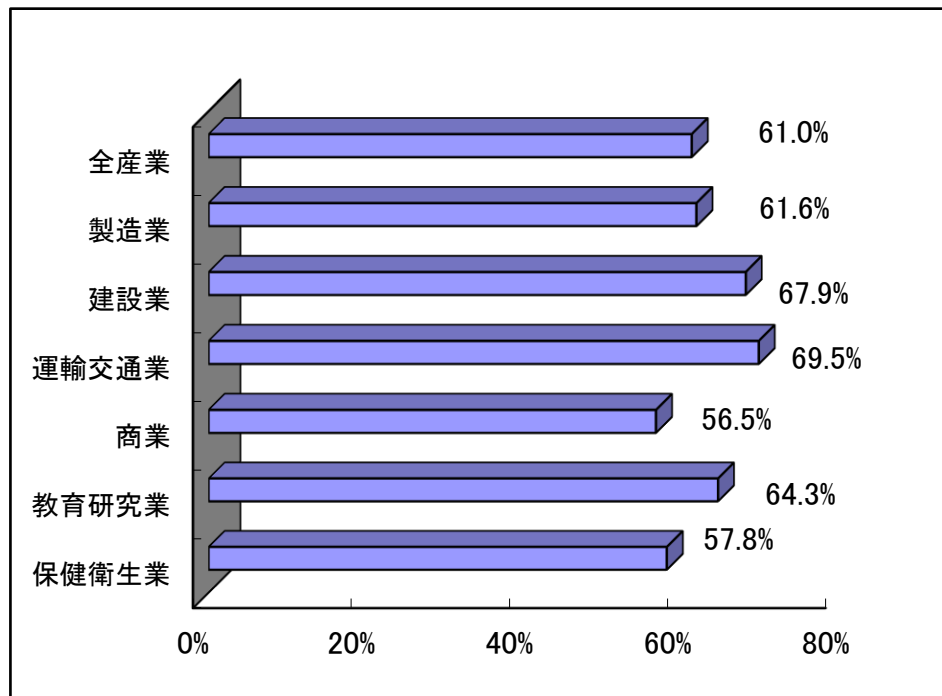
健康診断種類別・有所見率の推移



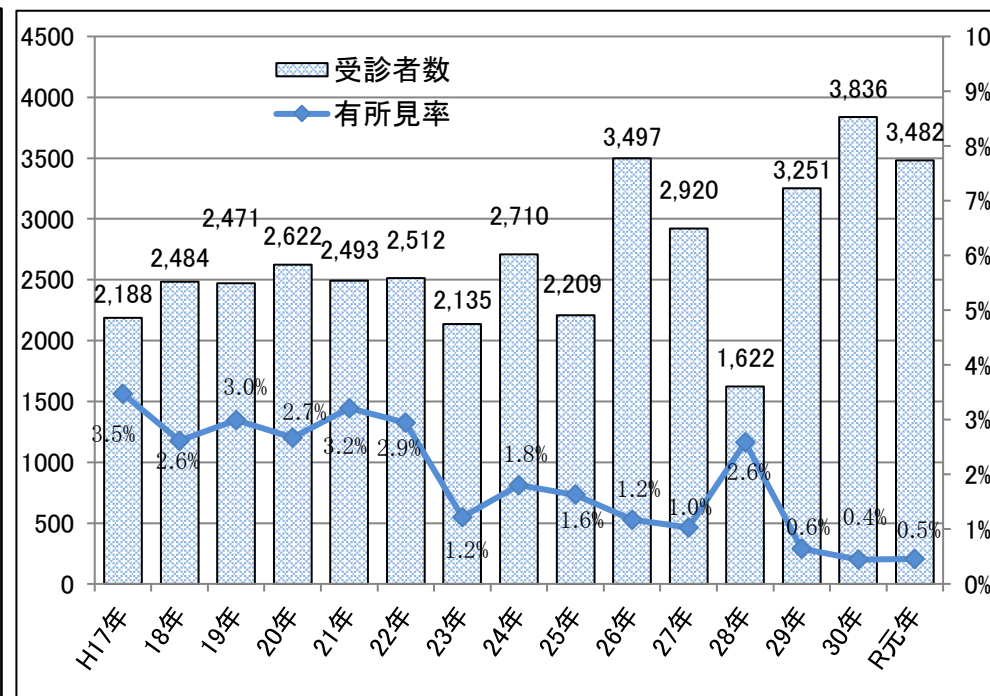
令和元年 項目別・一般健診 有所見率



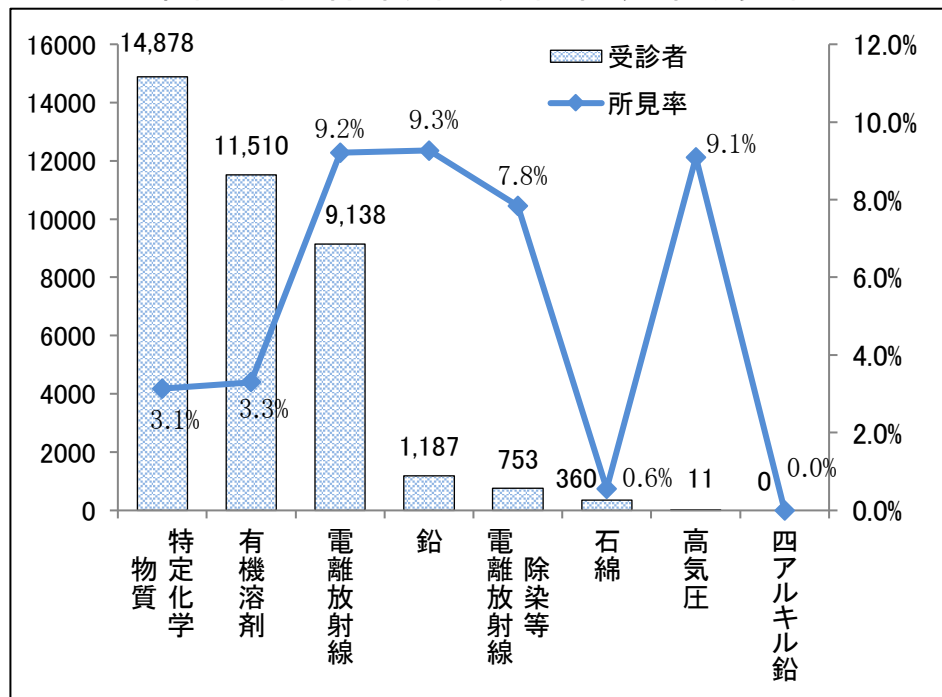
令和元年 業種別・一般健診 有所見率



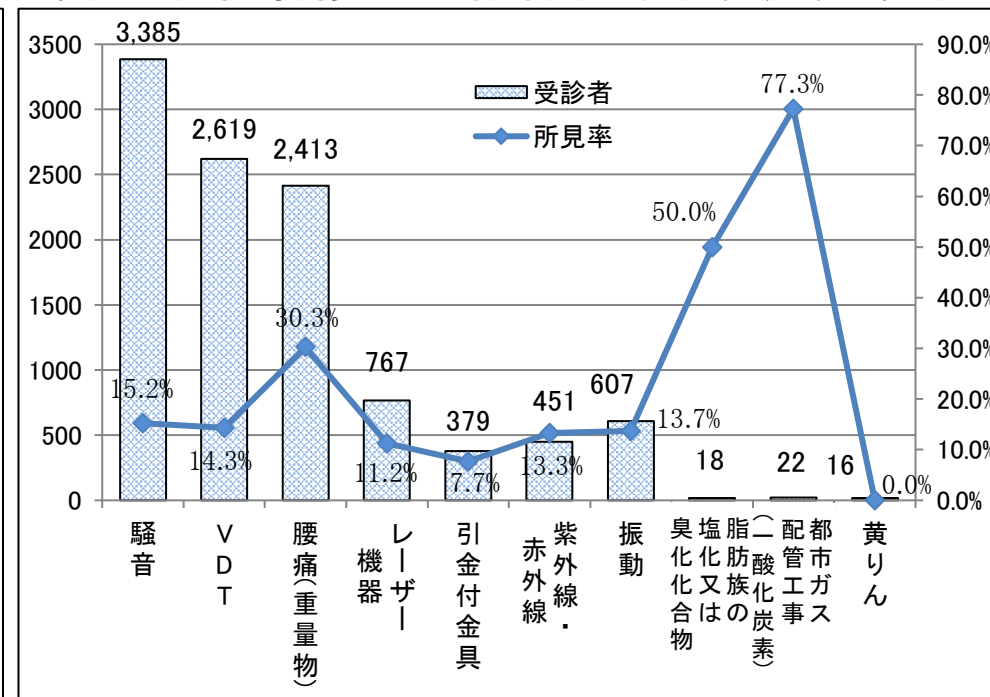
じん肺健診 受診者数・有所見率の推移



令和元年 特殊健診 受診者数・有所見率



令和元年 指導勧奨による特殊健診 受診者数・有所見率



### 1 定期健康診断(一般健診)の実施結果

- ① 有所見率は増加傾向で推移し、平成30年に60%を超え、令和元年は61.0%となっている。
- ② 健診項目別有所見率では、血中脂質検査が35.1%と最も高く、次いで血圧、肝機能検査、血糖検査の順となっている。
- ③ 業種別の有所見率では、運輸交通業、建設業で高率となっている。

### 2 じん肺健康診断の実施結果

- ① 受診者数は、近年は3千人台で増加傾向にあり、令和元年は3,482人であった。
- ② 令和元年の有所見率は、0.5%となっている。

### 3 特殊健康診断及び指導勧奨による特殊健康診断の実施結果

- ① 令和元年の特殊健康診断の受診者数は特定化学物質が最も多く、次いで有機溶剤、電離放射線の順となっている。同年の有所見率は、鉛が9.3%と最も高く、次いで電離放射線、高気圧の順となっている。
- ② 令和元年の指導勧奨による特殊健康診断の受診者数は、騒音が3,385人と最も多く、次いでVDT、腰痛(重量物)の順となっている。同年の有所見率では、都市ガス配管工事が77.3%と最も高く、次いで脂肪族の塩化又は臭化化合物、腰痛(重量物)の順となっている。